

信州Green電源拡大プロジェクトとは

- 長野県内の再生可能エネルギーの供給拡大と地域の脱炭素化の推進を目的に、県企業局や中部電力(株)が県内で水力発電した電気を企業が購入し、購入費用の一部を電源開発に充てるプロジェクト
- 令和3年5月、セイコーエプソン(株)、中部電力ミライズ(株)、県企業局で第1弾となる協定を締結。中部電力ミライズ(株)がセイコーエプソン(株)に販売した「信州Greenでんき」※の収益の一部を、企業局の「越百のしずく発電所(飯島町)」等の建設費として支援

※中部電力ミライズ(株)など小売電気事業者が販売する、企業局の発電所など県内の水力発電所から調達したCO2フリー電気の商品名



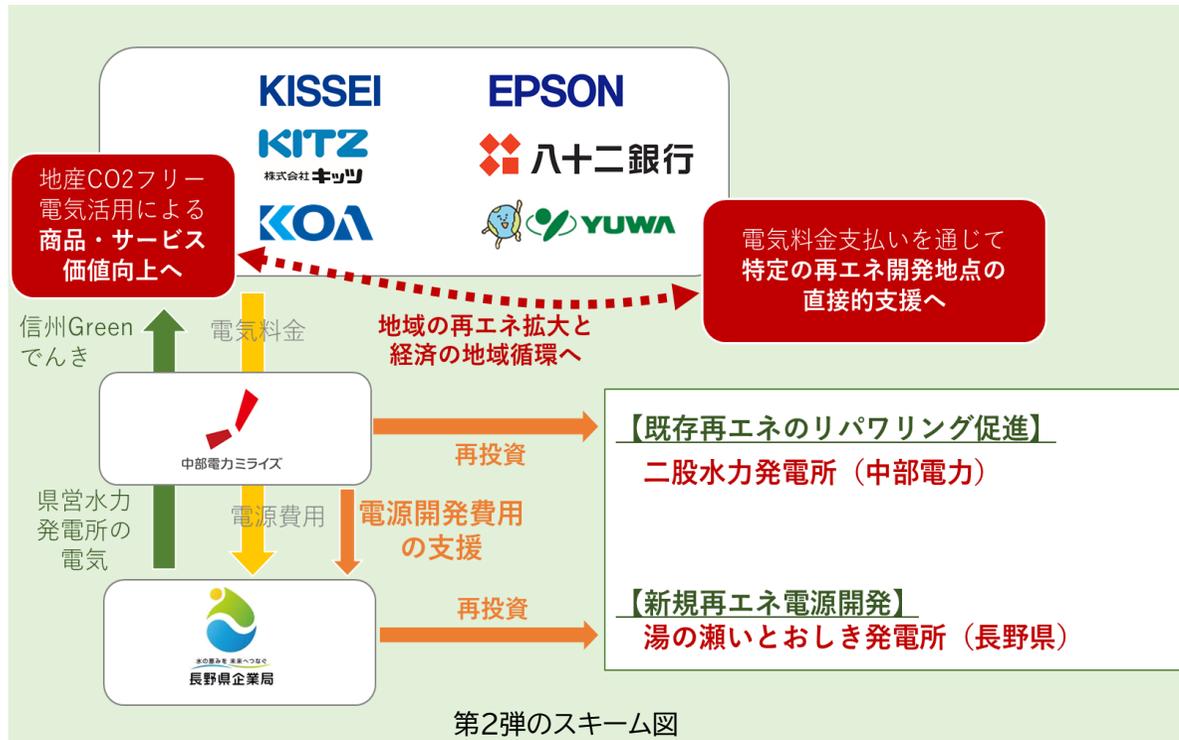
「越百のしずく発電所」
完成予想図

プロジェクト第2弾の概要

- 令和5年11月20日、本取組の加速化を目指し、参加企業がキッセイ薬品工業(株)、(株)キッツ、K O A(株)、セイコーエプソン(株)、(株)八十二銀行、(株)ユウワの6社に拡大、「プロジェクト第2弾」が開始
- 第2弾では、新規電源開発(建設)に加え、リパワリング(設備改修による発電力の増強：中部電力(株)の発電所)も支援対象に追加
- 企業局では、今年度着工した「湯の瀬いとおしき発電所(長野市)」の建設費について支援を受ける。



協定締結に関する
記者会見の様様



第2弾で支援を受ける「湯の瀬いとおしき発電所」完成予想図

プロジェクト等を通じた電源開発の推進

- 本プロジェクトによるCO₂フリー電力の売電収益の新規発電所の建設等への再投資
➔ 再生可能エネルギーの更なる普及拡大、地消地産という好循環
- 企業局では、本プロジェクトの活用に加え、関係部局や市町村等とも連携
➔ 新たな電源開発地点の発掘に積極的に取り組み、県全体の再生可能エネルギー生産量の拡大に寄与